



ひまわりだより

平成 29 年 度
第 8 号
平成 29 年 11 月 1 日
ひまわり 特別支援学校



学校教育目標：かがやく子 - 今も未来も -



「第35回 ひまわり祭」

校長 村瀬 修一

11月（霜月）になりました。読んで字のごとく霜が降りるようになるから「霜月」なのでしょうか。旧暦では11月は今の12月に相当するそうですから季節的には当てはまります。

気温がぐんと下がってきました。

私は、秋になり気温が下がってくると、中学生や高校生のときの文化祭や運動会を思い出します。短パン、半そでの体育着を着て、運動会の開会式準備のためにグラウンドに出た際の肌寒く、ブルっとした感覚、仲間と共に文化祭の準備を終えて学校を出た際に、日が落ち、あたりが暗く肌寒い風が少々吹いている何ともいえない物悲しい感覚が、文化祭や運動会と結びついているのだと思います。そして、わずかな間を置いて、仲間との連帯感、達成感、ともに喜び、ともに燃えた素晴らしい思い出が重なります。

11月6日から「第35回 ひまわり祭」が開催されます。テーマは「みんなの笑顔かがやく ひまわり祭」です。児童生徒のみなさんにも、この季節感とともに、皆とともにがんばり、楽しさや喜びを思う存分味わってほしいと思います。そしていつか、ひまわりを卒業してからも、この時期の季節感とともに思い出してほしいと思います。

さて、空気は冷たくなると密度が増すそうです。ターボ（過給装置）がついている車では、インタークーラーという空気を冷やす装置が付いていて、エンジンに密度の濃い空気を送りこみ出力を上げるそうです。気温が下がり、ひまわり祭を前にして、本校児童生徒も我が愛車も一段階出力が上がったような気がします。